

## 平成25年度上半期指定管理者管理運営状況シート

### ●施設の概要

施設名	岐阜市健康ふれあい農園	所管課	農林園芸課
所在地	岐阜市安食字竹田799番地1		
指定管理者名	ぎふ農業協同組合		
指定期間	平成25年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	8,513,000円		
施設の設置目的	農作業体験を通して、自らの健康増進、家族とのふれあい及び農業に関する理解を深める		
施設概要	貸付農地、利用農地、附帯施設(管理事務所、農機具倉庫、物置、便所、堆肥置場、洗い場、園路、休養施設、駐車場、農機具類及び農具類)		

### ●利用状況

		H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期
貸付農地利用区画数		216	214	211	217	217
利用状況	一般用区画A(30㎡)利用率	94.7%	95.4%	92.4%	99.2%	99.2%
	一般用区画B(40㎡)利用率	76.6%	78.1%	79.7%	78.1%	78.1%
	一般用区画C(50㎡)利用率	45.9%	41.0%	41.0%	37.7%	37.7%
	身体障害者用区画E(2㎡)利用率	100%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%
	収穫体験利用組数(組)	387	1,240	522	1,486	543
	収穫体験利用人数(人)	1,192	4,216	1,666	4,802	1,629

### ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応(雑草、有害鳥獣等) ⑤栽培指導 ⑥耕耘機の無料貸出し	①業務日誌より、午前8時出勤、午後5時退社の確認 ②申請受付1名、農園管理3名(交代制)配置 ③・JA機関誌「ふれあいねっと」H25.5号に掲載 ・JAのHPIにH25.8から掲載 ④・随時除草作業実施 ・小型有害獣捕獲用箱罠の設置(5/15～7/13) ⑤月1～2回の巡回指導、年2回の栽培講習会実施 ⑥上半期(4月～9月):86件
自主事業・提案事業	①貸付区画利用者からの依頼による有料耕起作業 ②地元スポーツ少年団による食農教育の一環として、貸付区画(50㎡区画)を貸し出す。	①1,200円/10㎡、1,400円/20㎡、1,600円/30㎡ 上半期(4月～9月):1件の依頼を受け実施 ②貸付区画(50㎡区画)にて秋じゃがいもを栽培(9/1～12/15)
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③受水槽、浄化槽点検 ④利用農地栽培管理 ⑤作物残渣処理 ⑥貸付農地の適正管理指導 ⑦除草作業	①日常清掃(トイレ、管理事務所、倉庫/毎日)実施 ②定期巡回(午前9時頃)実施 ③委託業者による点検(年1回) ④作物11種の栽培管理、気象変動に対応した作業変更の実施 ⑤水分排除後、利用農地輪作予定区画にすき込み、土づくりに活用 ⑥未利用貸付区画の緑肥栽培実施、巡回時に随時管理指導実施 ⑦側溝のり面、駐車場等、随時除草作業確認
施設修繕	・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	・農業器具の修繕を営農組織に依頼し、経費を縮減した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報保護方針を作成し、適正に取り扱っている。 ②緊急時の対応マニュアルを整備し、台風被害対策を行うなど、適切な危機管理対策を実施した。 ③関係法令を遵守している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃがいも、とうもろこしの体験会員154組を対象に、平成25年7月6日～13日に実施。</li> <li>・アンケート質問項目:「来園人数」、「体験時の係員の指導について」、「作物の出来具合について」、「収穫作物の種類について」、「イベントの実施について」、「ご意見、感想」</li> </ul>
利用者アンケートの実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回収総数 77枚 (回答率 50%)</li> <li>・「来園人数」 1人:6.5%、2人:20.8%、3人:26.0%、4人:31.2%、5人:9.1%、6人:5.2%、7人以上:1.3%</li> <li>・「体験時の係員の指導について」 大変満足61.0%、満足37.7%、やや不満1.3%、大変不満0%、その他0%</li> <li>・「作物の出来具合について」 大変満足40.3%、満足57.1%、やや不満2.6%、大変不満0%、その他0%</li> <li>・「収穫体験の作物の種類について」 大変満足44.2%、満足50.6%、やや不満2.6%、大変不満0%、その他2.6%</li> <li>・「料理教室等のイベントの実施について」 希望する82.4%、希望しない16.2%、その他1.5%</li> </ul> <p>・主な意見・要望:子どもにとって良い体験ができてよかった。収穫が楽しかった。等</p>
利用者からの要望・苦情と対応・改善	<p>アンケートの意見・結果については指定管理者に伝え、指定管理者で改善できるものはお願いしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生育状況にムラがある ⇒ 猛暑や台風、干ばつ等天候の問題があるため、播種時期をずらす等最大限の努力はしている。</li> <li>・午後も収穫体験を行ってほしい ⇒ 収穫体験の期間中都合が合わない方には、随時個人対応をしている。</li> <li>・収穫体験時にイベントをしてほしい ⇒ 食農体験プログラムとして、ふれあい農園にて親子野菜収穫・料理づくり体験教室を行っている。また、昨年12月に焼き芋の無料配布を実施したが、今年も同様のイベントを実施する予定。</li> <li>・他の野菜も収穫したい ⇒ 収穫作物について、かぼちゃからプロッコリーに変更した。(H25年度から)</li> <li>・貸付区画の土質が良くない ⇒ 堆肥の無料配布や耕耘機の無料貸出し等、引き続き対応策を実施する。</li> </ul>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	利用申込みが区画数を越えた場合の公平な利用者決定方法を講じるか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	利用者募集PRを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	気象状況に応じた栽培方法を選択しているか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者からの意見を聴取しているか。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者からの意見について、検討・対応策を講じているか。	A	B	B
		利用促進、利用者増の方策	栽培指導を実施しているか。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質確保のために体制を整備しているか。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	専門の栽培指導員を配置しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービス低下を招くことなく、コスト縮減に努めているか。	A	A	A
		収支計画の妥当性	計画に基づき、遂行されているか。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当、勤務時間を工夫し、より効率よく業務が出来るよう配置しているか。	A	A	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策	利用者増につながるイベントを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	経営は安定しているか。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	作物栽培経験、農業機械操作技術を有する職員を配置しているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	スタッフ間の連携がとれた体制が整備されているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	人材育成の方策は策定されているか。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	自然災害、防犯、事故等の緊急時における危機管理のための方策が確立されているか。	A	A	A
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	資金力は十分備わっているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元法人、団体の育成に貢献しているか。	A	A	A
		地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元農家の雇用に貢献しているか。	A	A	A
		地元での資材等の調達	地元で資材を調達しているか。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	地元からの要請があった場合に応じられるか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	地元開催のイベントに協力しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>・今年の上半期は例年以上に酷暑が続き農作物への悪影響も心配されたが、利用農地での収穫体験では大変作物の出来がよく、アンケートでも高い評価を得た。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>・少雨時の乾燥対策として、利用農地において新たに散水設備を導入した。          ・JAぎふホームページや機関誌において、施設の紹介や募集記事等を掲載し、施設の魅力の周知や利用者の増加に努めた。また、JA各支店やおんさい広場などにポスターやチラシを設置するなど、積極的にPRを行った。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>・秋に向けて野菜収穫・料理づくり体験教室、感謝祭などのイベントを行う予定。          ・上半期に引き続き、積極的に施設のPR活動を行う。          ・利用農地に導入した散水施設を活用し、収穫体験で提供する作物の更なる品質向上に努める。</p>

●所管課の意見

<p>・体験会員へのアンケート結果について前回よりも満足度が全体的に高くなっており、管理人が丁寧な栽培管理及び来園者対応に努めたことは高く評価したい。          ・農園のPRのため、JAの機関誌への掲載の他に広報担当部署に働きかけを行い、JAぎふのホームページに紹介・募集ページを作成したことは評価したい。          ・土壌改良については、引き続き、さらなる作物残さのすき込み及び堆肥の無料提供を実施するよう求める。          ・農業委員会実施の食農教育児童実践支援事業において、貸付区画のC区画(50㎡)を5区画借りて子どもたちに野菜収穫を体験してもらった。こういった地元の子どもの食農教育の場としても農園が利用されていることを評価するとともに、C区画の利用率が上がったため、今後とも引き続き農園のPRに努め、利用率が向上するよう求める。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・貸付区画の利用率が向上していることについて、不断の努力の効果が現れているものとして評価できる。          ・従来利用率が低かったC区画の利用率向上については、食農教育児童実践支援事業等、子ども達を含めた多様な年代の人々により一層参加してもらえるようなイベントを今後も期待する。          ・様々なメディアを通して広報を行ったことは高く評価できる。引き続き広報を実施して利用率向上に努めていただきたい。          ・アンケート結果を参考に、利用者のニーズに応じたより細やかな指導を今後も心掛けていただきたい。また、施設の利用改善や多様な世代による利用促進の取り組みに引き続き努めていただきたい。</p>
--